

中学校再編に向けての保護者意見交換会の概要

【篠島地区】

日 時 令和3年9月13日（月） 午後6時30分～午後7時30分
場 所 篠島開発総合センター 2階集会室
参加者 保護者6名、傍聴者5名

篠島地区 主な意見

Q: 中学校編成は、町の財政難を理由に編成するということですか？

⇒元々のスタートは、子どもたちの人数が減少してきており、半島側でも、学年によっては、近い将来10人を切ってしまう学年が出てきます。中学校と小学校9年間、保育所をあわせると12年間、同じ子どもたち同士で学校生活をしていることとなります。

少しでも早くいろんな人に出会う機会を増やしてあげたいと思います。半島側の3中学校は一緒に統合という保護者の声が高まってきましたので、統合に向けて進めているわけですが、そのときに篠島、日間賀島も一緒に統合できればということで、今回の再編の動きになっております。

ご心配頂いたように、財政面もあります。5つの中学校を維持していくよりも、1つか2つの学校の方が、重点的に予算をつけることができますので、いい環境が子どもたちに準備できる、という面もあります。しかしあくまでも大切なのは、先ほど言った少人数学級を早く解消することです。

Q: 賛成反対は別にして、小中学校の子どもが島を歩いている景色がなくなることも反対意見が多い理由だと思う。子どもたちが歩いている姿とか、交通当番の人がいて、交通整理をして、という風景が、学校がなくなると、島からなくなってしまう。

運動会についても、じいちゃん、ばあちゃんが見に行きたくても、内海とかだと行くことができないし、行くとしても時間がかかる。今までPTAが運動場とかの草むしりなどを手伝ってきたが、船に乗って学校へ手伝いに行くのかとか、確実に、船に乗っていくと半日がかかりになってしまう。じゃあ仕事をどうするんだ、とか。そういうことも、統合反対の理由だろうし、反対意見が多い理由だと思います。

⇒これからは、子どもたちには、小学生のときまでに、今まで以上に地域にしっかり結びついて、地域のことを学んで頂きたいと考えています。各小学校区5つの地区で伝統とか、文化も違うので、そういったものを小学生のうちをしっかり身につけてほしい。そういう子どもたちが、中学生になって、一つの中学校でいろいろな情報交換をしながら、「南知多町のいろいろな地域のことを学んでいただきたい」と考えています。半島側の地区でも、自分の地区のことしか知らない子どもがたくさんいます。そうではなくて、南知多町全体のことを、これからもっと知って、学んで欲しいと思っています。

Q: 篠島は、地域の方と一緒にやる行事がたくさんあります。おんべ鯛祭りや、お正月の大名行列などがあります。お話のような他地域に行って地域の方と連携をするのも大事ですが、今まで島の中でやってきたことがなくなっていくと、島も段々過疎化してしまうし、そういう行事をなくしていくと、島も子どもたちとのふれあいがなくなってしまいます。そうならないために地域の方は、頑張っているのに、それをなくして、よその地域の人たちと連携し、視野を広げることはいいことですが、まず島を、大事にして欲しいです。町は、島のことをもう少し考えて欲しいと思います。

例えば、篠島の中学生が、朝寝過ごした場合、島の学校なら走って行けば、そんなに時間はかからずに学校へ行けます。でも、島外の学校だと寝過ごすと、出発時刻の1分2分で船が出でしまうので、そうすると遅刻になってしまいますよね。遅刻になると、普通の定期船で通うとなると30分、40分その倍かかりますよね。そうすると、中学校の遅刻、早退というのが、高校進学に影響してくると思います。そのことも、ちょっと考えてもらって、島から通う不便さを考えていただきたい。帰りは、1日2便になっているが、どうやって帰ってくるのかもよく検討していただきたい。いろいろやっぱり島だと問題があります。

⇒地元の伝統を大事にしたいとおっしゃっていましたが、そのとおりだと思います。各地区で子どもたちが地元の伝統を身につけて来て欲しい。これも可能かどうかは分からないですが、土曜日や日曜日に中学生が地元の祭り等に参加できるように、積極的に出させて頂きたい、と思っています。

バスについては、中学校の場合、基本的には、授業が終わる時間というのは、中学校1年生から3年生は、同じ時間になります。バスの運行については、再編委員会で検討します。

Q: 例えば、早退しますと言って、子どもたちが早退することになると、親は学校まで迎えに行かなければいけないですか？

⇒例えば、早退が何か用事があると言うことであれば、海っこバスで帰ってもらいますが、それが病気等で早退するときは、車で師崎港まで送るか、若しくは病院までお送りしますので、そこで、保護者がもし合流できるなら、そこで合流する。そう考えております。

Q: 両島だと、早退となるとやはり時間が1時間2時間とかかります。海っこバスで帰って来て、船で帰って来てとなると、早退の数が多くなっちゃいますよね？

⇒早退でも、その内容によると思っています。例えば、体調が悪いとか、そういう場合は、師崎港まで送ります。本当に体調が悪くてその後、船にも乗れないような状況の時は、保護者に師崎まで来て頂かなくてはなりません、それほどでもないなら、生徒を船に乗せて、篠島の港で保護者が待つ場合もあるでしょう。同じ早退でも、身体は元気で何かの用事での早退ならば、先程説明した海っこバス、定期船で帰宅となります。これは、あくまでも、案でありまして、細かい内容については、実際に話が進んでいったときに、再編委員会という会で地元の方々の声を聞きながら、決めていき

ますので、まだ、全部は決まっているわけではありません。

Q: 篠島では、おんべ鯛祭りが、平日に行く日が多くて、たまに土曜日曜にはまることもあります。平日の日にお祭りをやったときに、学校の方はどうなりますか？

⇒その件については、調整することになると思います。祭りの方に参加するケースもあると思いますが、これからの検討事項だと思います。

Q: 両島については、あくまで保護者の意見を尊重するとありますよね。理解が得られないときは、あくまでも強制的にやるのか、やらないのか。それをはっきり聞きたいです。

⇒この点につきましては、先日の議会でも答弁をさせてもらいましたが、あくまで保護者の理解が得られた段階でと、いうことですので、理解が得られなければ、統合はできないと考えております。

篠島は、最終的にはできれば一緒になりたいと思っていますので、令和5年の統合は、難しいですが、引き続き保護者のみなさんと意見交換会をおこなっていきたいと考えています。

Q: 統合は、難しいと思いますが、仮に統合した場合、学校で授業参観などの行事がある場合、保護者への交通費は、どうなりますか？

⇒学校行事で行く場合があると思いますが、今想定しているのは、船代につきましては、その日に使える1日券という形でお配りしたいと思います。保護者会等につきましては、例えば篠島へ先生が来て保護者会をやる等を考えております。

また、授業とかの様子を子ども達が使っているタブレットを利用して、家庭でも見えるような準備も必要になってくると思っています。

Q: 例えば学校に親が集まる時は、みんなが車を運転できる訳じゃないし、車のない人たちはどうやって行くことになりますか？

⇒船については、先程説明したとおりですが、バスにつきましては、海っ子バスの一日券等で学校まで来て頂くことを想定しております。

Q: そういうことを考えると、ものすごく島は、不便だよね。島から船で渡って、また海っ子バスを待って、バスに乗って、また帰りも同じく待って乗る。それこそ逆にリモートを使って他の中学校と合同で勉強するとかそういうことができないのかなあと思います。

⇒篠島の場合、令和5年4月の統合は難しいですが、それでもやはり他の中学校と交流をしたいと思います。実は、今月の9月10日に5中学校学年別の交流会を予定していましたが、それがこの緊急事態宣言で中止になってしまいました。今後、交流会を行ったり、生徒会などで各校がリモートの意見交換などを実施していきたいと考えています。

Q: PTA活動について、統合した場合、島側からも選ばれますか？

⇒はい。参加できないとなった場合、リモートも考えられますが、各地区の代表の方がPTA組織に入っていただきたいと考えています。コミュニティースクールという話がありましたけれども、極端な言い方をすると、再編委員会の継続版で、再編委員会というのは中学校を作る時に各地区保護者の方や学校関係が集まって、意見交換をして協議しながら進めていきますが、それを学校が統合した後も、継続していくのがコミュニティースクールと考えて頂ければいいです。だから、各地区のPTAが入ることを考えています。

Q: そういったものは、リモートになるのか？

⇒会議だったらリモートでもできると思います。これからの検討事項です。